



## 令和3年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和2年11月6日

上場会社名 株式会社サイネックス 上場取引所 東  
 コード番号 2376 URL <http://www.scinex.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田吉優  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 浅田政史 TEL 06-6766-3333  
 四半期報告書提出予定日 令和2年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和3年3月期第2四半期の連結業績（令和2年4月1日～令和2年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第2四半期	5,592	△16.3	△167	—	△163	—	△99	—
2年3月期第2四半期	6,677	△1.6	144	△9.4	152	△27.1	93	△23.3

(注) 包括利益 3年3月期第2四半期 △105百万円 (ー%) 2年3月期第2四半期 102百万円 (△16.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第2四半期	△18.24	—
2年3月期第2四半期	15.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年3月期第2四半期	13,337	6,753	50.6
2年3月期	10,614	6,946	65.4

(参考) 自己資本 3年3月期第2四半期 6,753百万円 2年3月期 6,946百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
3年3月期	—	0.00	—	—	—
3年3月期(予想)	—	—	—	10.00 ～12.50	10.00 ～12.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無  
 2. 令和3年3月期の配当（予想）については、レンジ形式で開示しております。

### 3. 令和3年3月期の連結業績予想（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	△13.5	200	△65.7	220	△64.7	100	△72.8	18.32
	～13,000	～△6.3	～350	～△39.9	～370	～△40.6	～200	～△45.7	～36.64

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無  
 2. 令和3年3月期の連結業績予想については、レンジ形式で開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	3年3月期2Q	6,470,660株	2年3月期	6,470,660株
② 期末自己株式数	3年3月期2Q	1,012,677株	2年3月期	1,012,677株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	3年3月期2Q	5,457,983株	2年3月期2Q	5,914,770株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において当社グループは、地域社会への貢献という経営理念に基づき、地方自治体や地域事業者のパートナーとして、広報やプロモーションを通じてサポートいたしました。また、官民協働による行政情報誌『わが街事典』の発行など、地方創生プラットフォーム構想により、地方創生支援事業に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大、およびそれに伴う緊急事態宣言の影響を受け、売上高は対前年同期比16.3%減の55億92百万円、営業損失は1億67百万円（前年同期は1億44百万円の営業利益）、経常損失は1億63百万円（前年同期は1億52百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は99百万円（前年同期は93百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

## ①出版事業

出版事業におきまして、官民協働による行政情報誌『わが街事典』は、引き続き行政情報誌としての機能を高め、ユニバーサルデザイン（UD）に準拠するなど利便性の向上をはかり、秋田県北秋田市や青森県深浦町などで新たに発行するとともに、東京都立川市や香川県観音寺市などで更新版を発行し、76の区市町と共同発行した結果、当第2四半期連結会計期間末における累計の共同発行自治体数は955、更新版を含めた累計発行版数は1,862となりました。また、子育てやごみガイドなどジャンル別行政情報誌の発行にも取り組みました。50音別電話帳『テレパル50』は、引き続き行政情報や特集企画を掲載した電話帳の発行を進めましたが、出版事業の外部顧客への売上高は、新型コロナウイルス感染拡大や緊急事態宣言下における顧客の営業自粛等の影響もあり、対前年同期比12.7%減の30億90百万円、セグメント利益は対前年同期比51.9%減の2億87百万円となりました。

## ②ICTソリューション事業

ICTソリューション事業におきまして、自治体向けソリューションの領域で「AIを活用した総合案内サービス」としてAIチャットボットの導入を進めております。奈良県と奈良県内3自治体へのAIによる自動応答システム導入に関する契約を締結いたしました。他にも愛媛県庁をはじめ、複数の団体と順次サービスを開始していく予定となっております。またホームページ・アプリ開発サービスについては、宮城県大崎市などと契約を締結し、累計の契約自治体数は56となりました。ふるさと納税支援事業にも引き続き取り組み、東京都羽村市、東京都三鷹市と業務代行契約を締結いたしました。民間企業向けサービスは、店舗や事務所をインターネット上のGoogleマップに表示するGoogleマイビジネスの販売に引き続き注力いたしました。

eコマース事業は、『わが街とくさんネット』や『食彩ネット』等の物販は地方生産者への販路提供と新しい生活様式で在宅が多くなった消費者の生活支援をマッチングし、好調に推移したものの、旅行商品は新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛の影響を受け低調に推移いたしました。これらの結果、外部顧客への売上高は対前年同期比31.2%減の8億45百万円、セグメント損失は90百万円（前年同期は48百万円のセグメント損失）となりました。

## ③ロジスティクス事業

ロジスティクス事業におきまして、DM発送代行事業は、官公庁の案件や既存顧客の取引拡大につとめ、ポストイン事業も新規顧客の拡大に努めましたが、新型コロナウイルスの感染拡大や緊急事態宣言による顧客の営業自粛の影響を受け、外部顧客への売上高は対前年同期比13.4%減の16億37百万円、セグメント利益は対前年同期比30.7%減の32百万円となりました。

## ④不動産事業

不動産事業におきまして、当社の不動産賃貸収入による外部顧客への売上高は対前年同期比4.6%減の19百万円、セグメント利益は対前年同期比8.9%減の11百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、133億37百万円となり、前連結会計年度末比27億22百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加額29億22百万円、建設仮勘定の増加額5億7百万円等に対し、受取手形及び売掛金の減少額5億74百万円等によるものであります。

負債は、65億84百万円となり、前連結会計年度末比29億15百万円の増加となりました。その主な要因は、長期借入金（1年内返済予定のもの含む）の増加額36億50百万円等に対し、買掛金の減少額2億54百万円、短期借入金の減少額2億円、前受金の減少額1億89百万円、未払法人税等の減少額1億円等によるものであります。

なお、純資産は67億53百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末比14.8ポイント下落の50.6%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は48億34百万円となり、前連結会計年度末と比較して28億35百万円の増加となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」については、営業活動の結果得られた資金は38百万円（前年同期は2億47百万円の支出）となりました。これは主に、売上債権の減少額5億74百万円、賞与引当金の増加額57百万円、たな卸資産の減少額50百万円、減価償却費43百万円、貸倒引当金の増加額29百万円等に対し、仕入債務の減少額2億54百万円、前受金の減少額1億89百万円、税金等調整前四半期純損失1億29百万円、法人税等の支払額又は還付額1億21百万円、その他の増減額51百万円等の支出によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」については、投資活動の結果使用した資金は5億85百万円（前年同期は48百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5億11百万円、定期預金の預入による支出3億28百万円等に対し、定期預金の払戻による収入2億41百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」については、財務活動の結果得られた資金は33億82百万円（前年同期は4億99百万円の支出）となりました。これは、長期借入れによる収入36億50百万円等に対し、短期借入金の減少額2億円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年3月期の業績予想につきましては、令和2年5月15日に公表いたしました「令和2年3月期決算短信」に記載の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,529,660	5,452,225
受取手形及び売掛金	1,574,094	999,137
商品及び製品	97,979	70,828
仕掛品	28,420	12,554
原材料及び貯蔵品	36,797	29,241
その他	265,408	210,533
貸倒引当金	△18,368	△47,726
流動資産合計	4,513,992	6,726,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	594,555	578,827
機械装置及び運搬具(純額)	145,483	127,467
土地	2,739,380	2,730,720
建設仮勘定	544,845	1,052,148
その他(純額)	27,771	24,018
有形固定資産合計	4,052,037	4,513,181
無形固定資産		
のれん	182,000	173,225
その他	35,519	33,989
無形固定資産合計	217,520	207,215
投資その他の資産		
投資有価証券	343,816	342,333
その他	1,492,790	1,553,282
貸倒引当金	△5,437	△5,137
投資その他の資産合計	1,831,168	1,890,478
固定資産合計	6,100,725	6,610,875
資産合計	10,614,718	13,337,670

(単位:千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	814,879	560,696
短期借入金	500,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	—	22,620
未払法人税等	146,750	46,112
前受金	360,384	170,982
賞与引当金	148,684	205,991
その他	407,221	339,741
流動負債合計	2,377,920	1,646,143
固定負債		
長期借入金	—	3,627,379
役員退職慰労引当金	99,042	101,184
退職給付に係る負債	1,166,147	1,185,142
その他	25,604	24,694
固定負債合計	1,290,794	4,938,401
負債合計	3,668,714	6,584,545
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	1,137,583	1,137,583
利益剰余金	5,662,874	5,476,112
自己株式	△606,836	△606,836
株主資本合計	6,943,622	6,756,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,729	△8,312
退職給付に係る調整累計額	8,110	4,577
その他の包括利益累計額合計	2,380	△3,734
非支配株主持分	—	—
純資産合計	6,946,003	6,753,125
負債純資産合計	10,614,718	13,337,670

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
売上高	6,677,950	5,592,262
売上原価	3,670,584	2,948,720
売上総利益	3,007,365	2,643,541
販売費及び一般管理費	2,862,506	2,811,120
営業利益又は営業損失(△)	144,858	△167,579
営業外収益		
受取利息	939	262
受取配当金	11,246	2,956
受取家賃	2,578	3,257
複合金融商品評価益	—	4,693
その他	6,253	7,869
営業外収益合計	21,017	19,040
営業外費用		
支払利息	3,176	5,617
複合金融商品評価損	1,230	—
為替差損	9,033	8,915
その他	244	50
営業外費用合計	13,684	14,584
経常利益又は経常損失(△)	152,191	△163,122
特別利益		
固定資産売却益	12,168	8,681
関係会社株式売却益	—	27,431
特別利益合計	12,168	36,112
特別損失		
固定資産除却損	1,407	2,509
固定資産売却損	—	195
投資有価証券売却損	2,136	—
特別損失合計	3,544	2,705
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	160,815	△129,715
法人税、住民税及び事業税	93,780	26,827
法人税等調整額	△26,126	△56,977
法人税等合計	67,654	△30,149
四半期純利益又は四半期純損失(△)	93,161	△99,566
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	93,161	△99,566



（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	93,161	△99,566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,152	△2,582
退職給付に係る調整額	△3,428	△3,532
その他の包括利益合計	9,724	△6,115
四半期包括利益	102,885	△105,681
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	102,885	△105,681
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	160,815	△129,715
減価償却費	70,788	43,682
のれん償却額	8,774	8,774
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,461	29,057
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,345	2,141
賞与引当金の増減額(△は減少)	72,643	57,306
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,863	13,897
受取利息及び受取配当金	△12,186	△3,219
支払利息	3,176	5,617
為替差損益(△は益)	9,033	8,915
複合金融商品評価損益(△は益)	1,230	△4,693
投資有価証券売却損益(△は益)	2,136	—
売上債権の増減額(△は増加)	234,896	574,956
たな卸資産の増減額(△は増加)	△58,370	50,573
仕入債務の増減額(△は減少)	△169,121	△254,182
前受金の増減額(△は減少)	△391,754	△189,402
その他	△87,092	△51,059
小計	△152,971	162,650
利息及び配当金の受取額	12,742	3,209
利息の支払額	△3,442	△6,335
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△103,423	△121,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	△247,095	38,379
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△301,000	△328,000
定期預金の払戻による収入	241,000	241,000
投資有価証券の取得による支出	△200,000	—
投資有価証券の売却による収入	197,863	—
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	6,609
有形固定資産の取得による支出	△106,644	△511,879
有形固定資産の売却による収入	27,368	19,113
無形固定資産の取得による支出	△10,285	△18,764
貸付金の回収による収入	6,250	6,300
保険積立金の積立による支出	△1,628	△1,347
預り保証金の返還による支出	△999	△999
預託金の返還による収入	29	29
その他	△881	2,260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,927	△585,679
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△200,000
長期借入れによる収入	—	3,650,000
自己株式の取得による支出	△423,792	—
配当金の支払額	△76,150	△67,135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△499,942	3,382,864
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△795,966	2,835,564
現金及び現金同等物の期首残高	3,299,617	1,998,660
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,503,650	4,834,225

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成31年4月1日 至令和元年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	出版事業	ICTソリ ューション 事業	ロジスティ クス事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,538,251	1,228,840	1,890,696	20,161	6,677,950	—	6,677,950
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,186	6,097	250,704	—	258,988	△258,988	—
計	3,540,438	1,234,938	2,141,401	20,161	6,936,939	△258,988	6,677,950
セグメント利益又は 損失(△)	598,180	△48,289	46,606	12,110	608,608	△463,749	144,858

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△463,749千円には、セグメント間取引消去4,902千円、のれんの償却額△8,774千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△459,876千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自令和2年4月1日 至令和2年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	出版事業	ICTソリ ューション 事業	ロジスティ クス事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,090,523	845,413	1,637,083	19,241	5,592,262	—	5,592,262
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,308	3,980	266,149	—	271,438	△271,438	—
計	3,091,831	849,394	1,903,233	19,241	5,863,700	△271,438	5,592,262
セグメント利益又は 損失(△)	287,793	△90,611	32,281	11,031	240,494	△408,073	△167,579

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△408,073千円には、セグメント間取引消去4,761千円、のれんの償却額△8,774千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△404,060千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。